

お茶の水女子大学

日本語文化学会

第60回研究会

2024年10月26日(土) 13:00~

会場: お茶の水女子大学 国際交流プラザ2階

(正門からお入りください)

※会場の建物が例年と異なります。正門横の建物です。

参加費: 500円(非会員)

※会員は参加無料、予約不要、直接会場までお越しください。

同日開催 大学院進学説明会

日時: 10月26日(土) 10:00~12:00

詳細については、日本語教育コース HP をご覧ください。

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/jle/>

【タイムスケジュール】

総会・開会式 13:00-13:15 (A~C室)

口頭発表 13:15-14:35 (A~C室)

黒木里佳子 (お茶の水女子大学)

「JSL 高校生と日本人高校生による小論文のピア・レスポンス」

岡加代 (お茶の水女子大学)

「長期滞在 JSL 児童による対のある自他動詞の産出
— 家庭使用言語の影響 —」

講演会 14:50-16:00 (A~C室)

李址遠 (お茶の水女子大学)

「文化のなかの語り、語りのなかの文化」

茶話会 16:00-16:30 (コモンズ2)

閉会式 16:30-16:45 (A~C室)

【講演要旨】

「文化のなかの語り、語りのなかの文化」 李址遠 (お茶の水女子大学)

「語り」というコミュニケーション実践は、「文化」という偏在的な事象とどのような関係を持っているのでしょうか。そもそも文化とは何であり、それと言語(その構造および使用)との関係は、どのように理解されるべきでしょうか。本講演では、北米言語人類学における社会記号論の理論的視座から、これらの問いを探求します。日本語を第二言語とする話者のインタビュー談話を分析し、「文化のなかに語りがあり、語りのなかに文化がある」とは何を意味するのか論じます。そして、社会記号論が提示する言語と文化に関する理解が、言語教育における文化の扱い方に対して与える示唆についても考えます。

お茶の水女子大学 日本語文化学会

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

(お茶の水女子大学大学院 日本語教育コース助手室内)

E-mail: genbun@cc.ocha.ac.jp

<http://www.dc.ocha.ac.jp/comparative-cultures/jle/genbun/>

